

『令和7年度VR発達障害体験会』 開催要項

～ 令和7年度公益財団法人岩手県福祉基金助成事業 ～

1 目的

発達障害がある人が持つ特性は、言葉だけでは理解されにくいものが多く、「親の育て方が悪い」「わがまま」「本人の努力不足」等と言われてしまうことがあります。

「VR 発達障害体験会」は、発達障害を「学ぶ」のではなく「体験する」ことで、日々の対話のすれ違いに気づき、新しい関係づくりに繋げていくことを目的としています。

発達障害のいくつかの特性について VR 機器を使用し一人称で体験します。体験を通して、発達障害を取り巻く課題を当事者視点で考えることができ、参加者自身がどのように行動するべきかを言語化できるようになります。

2 主催

一般社団法人岩手県介護福祉士会

3 日時

令和7年9月27日（土）

[午前の部] 10:30 ～ 12:00 （受付開始 10:00～）

[午後の部] 13:30 ～ 15:00 （受付開始 13:00～）

4 会場

ふれあいランド岩手 1階 ふれあいホール（盛岡市三本柳 8-1-3 TEL:019-637-1000）

5 内容

| 項目 | 展開 | 意図 |
|--------------|--|--|
| 導入 (15分) | ①全体の流れの説明 ②チェックイン（本日の参加理由など） ③基礎知識の説明と体験への導入 | |
| 体験1 (20分) | ①体験「感覚過敏 聴覚編」(2分) ②グループディスカッション～発表 ③解説・補足 ④当事者インタビューの視聴 (3分) | 2つの感覚過敏の体験を通じて、「コミュニケーション障害がある人」と「普通の人」がいるのではなく、「少数派の特徴を持つ人」の間で“コミュニケーション障害”という現象が起きているという考え方を実感する。合理的配慮には本人との対話が必要であることを理解する。 |
| 体験2 (20分) | ①体験「感覚過敏 視覚編」(2分) ②グループディスカッション～発表 ③解説・補足 ④当事者インタビューの視聴 (3分) | |
| 体験3 (30分) | ①体験「ADHD 不注意優勢型」(6分) ②グループディスカッション～発表 ③解説・補足 ④当事者インタビューの視聴 (8分) | 発達障害はグラデーションであることを理解し、自分も「多様性」の中の一人だということを実感する。 |
| まとめ (5分) | 全体のまとめ | <全体 90分> |

講師：株式会社シルバーウッド VR事業部 様

6 対象

岩手県介護福祉士会会員、県内の障がい者・高齢者施設職員・介護従事者等

7 定員

[午前の部] 40名

[午後の部] 40名

※ 多数の申込みが想定されるため、1法人からの申込上限を3名までとします。

8 参加費

会 員：無料

※ 「会員」とは、日本介護福祉士会（岩手県介護福祉士会）へ年会費を納め会員登録している方のことです。介護福祉士の資格登録や各施設協議会等とは異なりますのでご注意ください。

非会員：3,000円

※ 本体験会を機に入会される方は、入会申込書の提出を条件に会員価格（無料）で参加できます。

※ 受講決定後にキャンセルする場合は、参加費の返金はできませんのでご了承ください。

9 申込方法

申込み専用フォームからお申込みください。

⇒ <https://forms.gle/kSLrxjqktCDmjSLn9>

※ 本会ホームページからも申込み専用フォームに進むことができます。

(<https://iwate-kaigofukushi.com>)

申込みフォーム
QRコード



【 申込期間 】 令和7年7月16日（水）～ 令和7年8月29日（金）

※ 申込締切後、9月10日（水）までに「受講決定通知書」及び「請求書（非会員の方）」をメールでお送りします。（メールが届かない場合、事務局までご連絡願います。）

10 その他

- (1) 本会会員の方には、生涯研修ポイントを交付します。
- (2) グループディスカッションの際は、マスクを着用願います。
- (3) 飲物は各自ご準備ください。なお、会場には自動販売機があります。

11 問い合わせ先

一般社団法人岩手県介護福祉士会事務局（担当：高橋）

〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内

TEL：019-637-4527 FAX：019-637-9612

E-mail：k-takahashi@iwate-shakyo.or.jp

